

広島県・広島市折半保証 市場公募債の発行に向けて

IR説明資料
ダイジェスト版

令和6年11月

広島高速道路債券の特徴

- **広島県・広島市の債務保証付きの公的セクター債券**
- **BIS規制上のリスク・ウェイト『0%』(地方債と同等)**
 - ・ 設立団体である広島県・広島市が、元金と利息のそれぞれ1/2を分担して保証し、主たる債務が履行遅滞となるとただちに広島県・広島市が履行義務を負うこととなります。

令和6年度広島高速道路債券(11月市場公募債)の概要

年 限	5年債・10年債を中心に発行
償 還 方 法	満期一括償還
資 金 の 使 途	高速道路の建設資金及び長期借入金の借換資金
起 債 時 期	令和6年11月中旬(予定)
発 行 時 期	令和6年11月下旬(予定)
位 置 付 け	金融商品取引法第2条第3号に該当する有価証券です
格 付 け	広島県・広島市の債務保証付き債券であることから、格付けは取得していません
主 幹 事	大和証券(事務)、SMBC日興証券株式会社、みずほ証券

広島高速道路公社とは

- **地方道路公社法に基づき、国の認可と広島県・広島市の各2分の1の出資を受け、設立された特別法人**
 - ・ 市場公募債を含む借入金等で道路を建設し、お客様から頂く通行料金により借入金を償還する「有料道路制度」を活用した非営利事業を実施

広島高速道路債券への投資意義

広島高速道路公社の整備効果

交通の円滑化・地域経済の振興

『広島駅』や『広島空港』といった広島都市圏への玄関口への交通アクセス改善により、観光やビジネスに経済効果が波及

都市の強靱化・生活の安心

広島高速道路は、『第一次緊急輸送道路』に指定されており、災害時でも円滑かつ確実な緊急搬送を実現

CO2排出量の抑制・安全性向上

市街地の道路と比較し高速道路は定速走行が可能であり、走行中のCO2排出量や死傷事故リスクの抑制に寄与

広島都市圏における道路整備促進によって、地域経済の発展に寄与
広島都市圏の発展による交通需要の増加が、安定的な料金収入を支え、更なる道路整備を実現

広島高速道路ネットワーク図



回号	発行日	発行額	年限	表面利率	発行価格	スプレッド
第30回	R5.12.22	30億円	5年	0.567%	100円	17.0bp
第31回	R5.12.22	27億円	10年	0.924%	100円	11.0bp
第32回	R5.12.22	32億円	20年	1.603%	100円	5.0bp
第33回	R6. 2.21	35億円	10年	0.835%	100円	9.0bp
第34回	R6. 2.21	30億円	20年	1.532%	100円	3.5bp

昨年
発行
実績

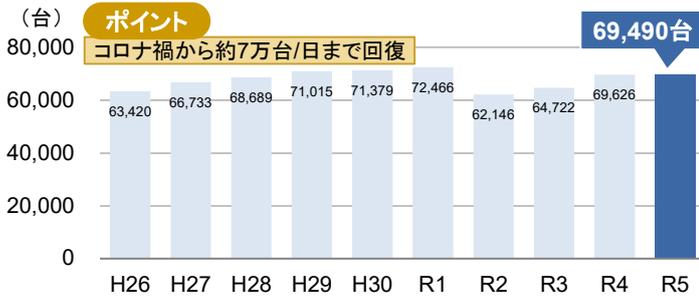


事業概要や債券発行情報については、「広島高速道路公社HP:企業・IR情報」からご覧いただけます。
(URL:<https://www.h-exp.or.jp/irinfo/>)

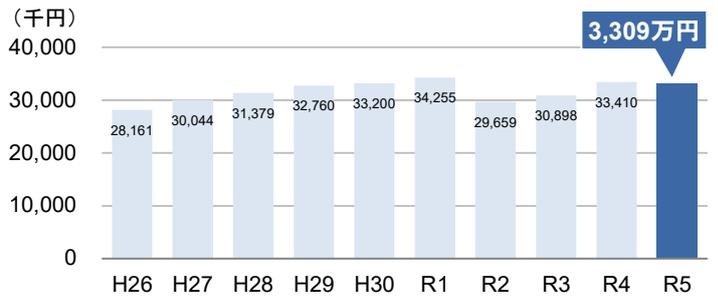
広島高速道路公社の財務状況

注)本頁の端数処理においては、係数毎に四捨五入を行っているため、計において合致しないことがあります。

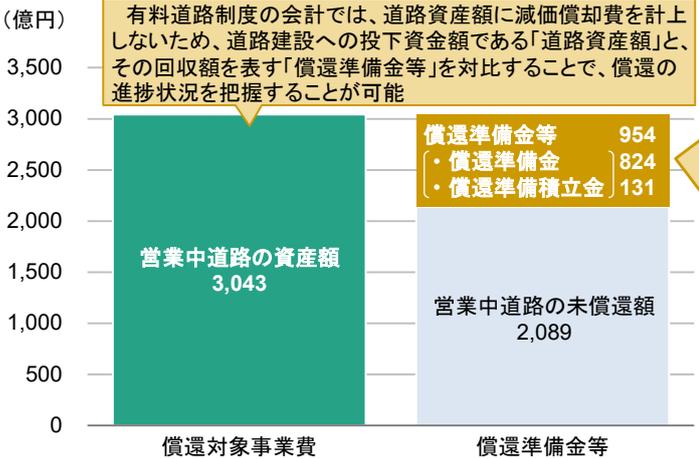
日平均通行台数の推移(直近10年間)



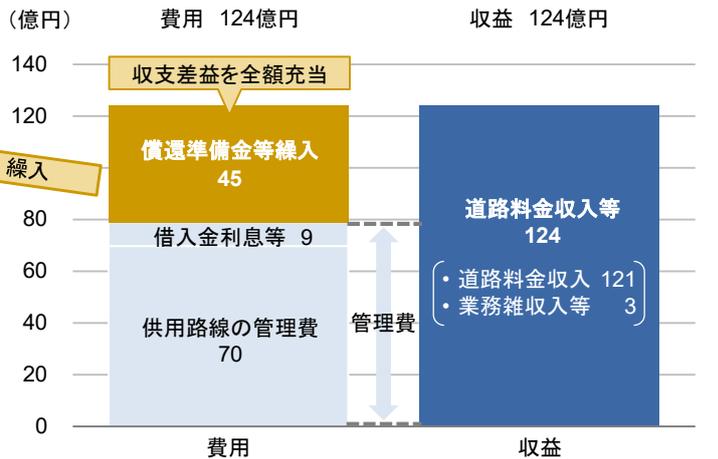
日平均料金収入の推移(直近10年間)



令和5年度末 償還状況(B/S抜粋)



令和5年度 営業中道路*の運営状況(P/L抜粋)



令和5年度 貸借対照表(B/S)

資産の部		負債及び資本の部	
勘定科目	(百万円)	勘定科目	(百万円)
流動資産	8,188	流動負債	22,480
固定資産	411,103	固定負債	211,783
営業中道路	304,279	広島高速道路債券	155,700
道路建設仮勘定	106,235	地方公共団体借入金	26,799
その他	589	政府借入金	28,238
繰延資産	462	民間借入金	691
		その他	355
		償還準備金等(特別法上の引当金等)	95,437
		基本金	82,367
		剰余金	13,070
資産合計	419,753	負債・資本合計	419,753

令和5年度 損益計算書(P/L)

費用の部		収益の部	
勘定科目	(百万円)	勘定科目	(百万円)
事業資産管理費	6,564	業務収入	12,292
一般管理費	410	道路料金収入等	12,108
業務外費用	923	業務雑収入	185
受託業務費	408	受託業務収入	408
		業務外収入	121
小計	8,305		
償還準備金等繰入	4,516		
費用合計	12,821	収益合計	12,821

1. 国県市等からの借入金で道路を建設
2. 道路開通後、営業で発生した収支差益は、P/L「償還準備金等繰入」に計上
3. その全額をB/S「償還準備金等」に繰り入れ
→「償還準備金等」は道路への投下資金の回収額及び、これまでの収支差益の累計額を表す

令和5年度 決算のポイント

堅調な通行料金収入を背景に、収支差益(償還準備金等繰入)を約45億円確保

- ・ 通行台数及び料金収入は、G7広島サミットに伴う通行止めの影響を受けつつ、昨年度とほぼ同水準を推移
- ・ 公社は設立(平成9年度)以来、毎年度確実に収支差益を計上し、全額を償還準備金等へ繰り入れている

道路への投下資金の回収額(償還準備金等)は約954億円と着実に増加

償還率の推移

